

# 大学院単位認定

この公開講座・セミナー・シンポジウム等は大学院医学研究科の単位認定対象となっております。単位認定の条件や対象科目等は下記をご確認ください。

## 単位認定条件

大学院生の方は、受講後、「出席票」を教務課(大学院担当)までご提出ください。  
出席票は、履修管理システムからダウンロードすることができます。

【履修管理システム】

博士課程: <http://lms.juntendo.ac.jp/>

修士課程: <http://mst.juntendo.ac.jp/>

## 認定科目

【博士課程】

Current Topics ※必修「大学院特別講義」に振り替えることはできません。

【修士課程(医科学コース)】

選択科目「大学院セミナー」

第 1 回健康創薬先端リサーチセンター

第69回環境医学研究所

第60回研究推進委員会合同セミナー

# 多様なセラミドによる 皮膚バリア形成の分子機構



**木原 章雄先生**  
(北海道大学薬学研究院・教授)

皮膚角質層に存在する透過性バリア（皮膚バリア）は感染防御や水分保持において極めて重要な働きをもち、その異常は感染症、アトピー性皮膚炎、乾燥肌、魚鱗癬の発症につながる。角質層には角質細胞間の脂質ラメラ（脂質多層構造体）と角質細胞表面の角質細胞脂質エンベロープ（形質膜様構造体）という2つの皮膚バリアに重要な構造体が存在する。セラミドはこれら構造体の主成分であり、脂質ラメラには遊離型セラミド、角質細胞脂質エンベロープには結合型セラミドが存在する。結合型セラミドとは角質細胞表面タンパク質と共有結合したセラミドのことである。ヒトセラミドは20クラスの遊離型セラミドと5クラスの結合型セラミド、計25クラスに分類され、そのうち角質層には23クラスが存在する。また、それぞれのクラスには炭素鎖長の異なる多くの分子種が含まれ、ヒト角質層には1,500を超える分子種が存在する。本講演では、これらセラミドの多様性、多様性を生み出す分子機構、セラミド組成異常が引き起こす皮膚疾患、それぞれのセラミドクラスの皮膚バリア形成における役割について我々の研究結果を中心に解説する。

**日時：2025年9月26日（金）18:00～19:00**

**会場：順天堂大学医学部附属浦安病院8階  
環境医学研究所カンファレンスルーム  
（Zoom配信併用）**

（お申込フォーム）



（大学院医学研究科）



**共催：順天堂大学大学院医学研究科  
環境医学研究所**

**お問い合わせ：健康創薬先端リサーチセンター**

**[kenkosoyaku@juntendo.ac.jp](mailto:kenkosoyaku@juntendo.ac.jp)**

